

# 出張子ども食堂開始

## 岡山支援センター 県内各地へ

一般社団法人「岡山子ども食堂支援センター」(倉敷市)は、出張型の子ども食堂を始めた。食を通じて子どもたちに寄り添い、地域の交流の場となる活動を広めていく狙い。川崎医療福祉大(同市)の学生と連携して、岡山県内各地で開催していく計画だ。(井上建吾)

子ども食堂は児童生徒や地域の人たちに、無料・低額で食事を提供する民間発の活動。認定NPO法人「全国子ども食堂支援センター・むすびぐ」(東京)の2023年度調査によると全国に9132カ所、県内には96カ所ある。児童が一人でも行けるように小学校区ごとにあるのが理想とされるが、県内の校区充足率は約18%(全国平均約30%)にとどまっている。



子ども食堂の準備をする川崎医療福祉大の学生たち=25日

## 川崎医福大生と連携 空白地をカバー

「イチ(手を伸ばす)型の住民や町内会、社会福祉取り組みとした。各地の社協議会、行政とも連携して進めていく考え

だ。岡山子ども食堂支援センターの代表理事を務める直島克樹・川崎医療福祉大講師の研究で社会福祉学を学んでいる学生が活動に参加する。第1弾として25日、倉敷市美観地区近くの町家「宮坂町の家」で開催。学生たちが卵と鶏肉、ホウレンソウの三色丼とみそ汁、サラダを作り、訪れた25人に振る舞った。「子ども食堂ミナト」と題し、月1回程度のペースで実施する。次回は7月16日午後4時から、宮坂町の家で開催予定。参加費

は子ども(高校生まで)無料、大人300円。同センターの野上豊也さんは「だれもが気兼ねなく楽しめる場にした。子ども食堂が各地で根付くきっかけになれば」と話している。問い合わせは同センター(070-2281-0035、平日午後1時~6時)。